女川原子力発電所3号機 第5回定期検査の状況 (平成21年6月分)

1. 定期検査の進捗状況

女川原子力発電所3号機は、平成20年11月26日より第5回定期検査を実施しておりますが、平成21年6月27日18時00分に原子炉を起動し、平成21年7月1日7時00分に発電を再開(調整運転)しました。

(添付-1 女川原子力発電所3号機 第5回定期検査 主要点検工程表 参照)

また、平成21年5月28日14時33分頃、制御棒駆動水圧系水圧制御ユニットの隔離解除作業を実施していたところ、137本ある制御棒のうちの1本が全挿入位置から、さらに挿入側に動作(過挿入)する事象が発生しました(平成21年5月28日お知らせ済み)。

本事象が発生した原因について調査を行い、再発防止対策を取りまとめ、平成21年6月25日、国に報告しました。なお、本事象発生の原因となった異物は発見されず、制御棒駆動機構(以下、「CRD」という。)の系統内に残留している可能性があることから、CRD本体に流入した場合についての影響評価を行った結果、原子炉内に異物が流入する可能性は低く、CRD本体の駆動機能およびプラントの機能に影響を与える可能性はないと考えております(平成21年6月25日お知らせ済み)。

トラブルに該当しないひび、傷等の状況について トラブルに該当しない「ひび」「傷」等の軽度な事象はありませんでした。

以上